

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(6/6)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府等)	正	3.3	3.5 <u>進捗度</u> ・国際医療交流の推進 128% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 52%	2.9 <u>規制の特例等</u> ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業 ・ペット(犬・猫)の輸入検疫制度の緩和 <u>財政支援等</u> ・地域活性化総合特区支援利子補給金 2件 <u>地域独自の取組</u> ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 等	3.3	<p>・本事業は新たな試みが多く、当初は事業環境の遅れもあり、全体として進捗度が低い印象を受けたが、「通訳案内士」の育成等、成果が出始めているものとして評価できる。今後は、高度がん医療拠点施設がオープンすることで全体の相乗効果も期待できると考えられ、今後の成果に期待したい。また、遠隔医療通訳ネットワークについて、将来的には非常に重要であるため、長期的な観点から進めていただきたい。</p> <p>・事業そのものが訪日観光客の誘致、あるいはそのフックに現状寄与しているとは考えにくく、一方の軸であるホスピタリティ・地域魅力の向上事業で進めている特区ガイドの育成や泉佐野着地型観光との連関性が見出しにくい。</p> <p>・リピーター客を主として想定した、漁港体験等「地域の魅力体感」観光商品等の「地域ツアー商品」の開発・販売の拡充、通訳案内士の活躍の場を拡大することが重要であり、他県での成功事例や合格者の活用、フォローについて研究とともに、マーケットDATAを分析して、目標設定、アクションプランの再検討が必要である。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)